

つばさフォーラム in 広島参加レポート。

去る10月4日（土）に、広島YMCA国際文化センターにてNPO法人血液情報広場・つばさフォーラム in 広島「血液がん～より良い治療とより良い治癒」が開催されました。折しも強い勢力の台風18号が近づいている時期で、交通機関がストップしてしまうのではと心配でしたが、雨にも降られることなく、滞りなく開催されました。

まず、全体会におきましては、広島大学病院血液内科の一戸辰夫先生による「血液と血液がんの理解」、同病院血液内科の大島久美先生による「血液がんの治療」が講演されました。

日ごろ、自分の病気について主治医の説明やインターネット等情報からある程度知識が得られていると思いますが、一歩引いて、血液がんの全体像からアプローチする見方も必要なかもしれません。そんな広い視野をご提示いただいたような講演でした。

また、疾患別Q&A分科会におきましては、CMLと骨髄増殖性腫瘍とが同じ分科会で開催され、大島久美先生よりターゲットを絞った詳細な講演、質疑応答が行われました。

薬をストップさせる臨床治験（注：勝手にやるのは危険ですので絶対やってはいけません）等、患者にとっては非常に興味のある分野について、貴重な情報の提供をいただきました。

一方で、患者の方からも、自分の疾患を宣告された時のショックや、主治医との意思疎通等に関する悩みが示され、同席された方々も他人事のことには思えなかったと思います。また、広島にはCMLと向きあい、こういったフォーラムの運営を長く支えている会員の方もいらっしゃいます。勉強会だけでなく、患者同士の横のつながりも長い治療の中で大切なものになっていくのではないかと考えさせられるフォーラムとなりました。

記 山浦